

貴志川線ニュース

青天の中「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」好評でした



貴志川線に乗って自然体験をしてもらおうと6月1日、「貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」を甘露寺前駅近くの農地で開催しました。

この催しは環境保全活動を行う「長原北・鳥居地域資源保全会(上山信夫代表)」のご後援で実現したもので250名の募集人員に対して、1020名もの多くの方からの応募があり、抽選により当選者を決定してご案内をさせて頂きました。

午前午後合わせて68組250名の参加者は、小さいお子様連れの家族グループが多く、昨日の雨で足元が少しぬかるみましたが、土がやわらか

貴志川線＋自然体験＝楽しさ倍増！

250名募集に1020名の応募

くじゃがいも掘りにはうってつけ、子供さんはもちろん若いお父さん、お母さんにも貴重な楽しい体験になったことでしょう。

保全会の皆さんの丹精込めた栽培で大きくきれいに育ったイモは持ち帰るに苦勞するほどの収穫となり参加の皆さんに大いに喜ばれました。

「つくる会」では参加者へのおもてなしとして、どんど焼きのイモを提供し大好評でした。また、終了後近くの平池公園散策を楽しむグループもありました。 **ご協力頂いた保全会とスタッフの皆さん有難うございました。**



地方鉄道の再生・活性化へ経費の半額補助を行う国の「地域公共交通活性化・再生事業」の創設が決定、事業主体は事業者、道路管理者、住民団体等からなる協議会(法定協議会)となることから、現在の貴志川線運営委員会の各委員とオブザーバーに近畿運輸局、同和歌山支局を構成員とする法定協議会が設立されました。今後貴志川線の乗客誘致、利便性向上のため、実態調査を始めとして具体的な取組みが行われます。

再生・活性化へ
法定協議会発足

活動評価され「ニュース和歌山基金」いただきました

「ニュース和歌山」が地域社会に貢献し住みよい社会を実現しようと1983年に設立されたニュース和歌山基金が今年で25周年を迎えたのを記念し、新たな事業を実施することになり「貴志川線の未来をつくる会」が支援先として選ばれ、先日代表はじめ役員がニュース和歌山本社を訪れ小川社長から基金をいただきました。

濱口代表は「経営が順調に推移しているとはいえ、厳しい状況に変わり無く、活動を継続して活性化をしていく、そのため頂いた基金は有効に活用していきたい」とお礼と決意を述べました。



◇最新情報・イベント案内・時刻表案内は

貴志川線

検索